

秋田大学 教育文化学部

2021

「子ども」と向き合う。

学校教育課程

教育実践
コース

英語教育
コース

理数教育
コース

特別支援教育
コース

こども発達
コース

「地域」に寄り添う。

地域文化学科

地域社会
コース

国際文化
コース

心理実践
コース



Akita University
Faculty of Education and Human Studies

高校生・受験生のみなさんへ

教育文化学部の「育てる人間像」

教育文化学部では
人間存在をめぐる現代的課題を
総合的に探究し、
教員および
新たな生活文化の創造を担う
人材を育成します。

※教育文化学部、学校教育課程および地域文化学科と各コースのアドミッションポリシーは7月公表予定の入学選抜要項でご確認ください。

■ 教育文化学部は、教師をめざす人のための「学校教育課程」と地域で活躍する公務員・企業人をめざす人のための「地域文化学科」の2つで構成されています。学校教育課程、地域文化学科とも、皆さんの求める学びを深めるために様々なコースを用意しています。

■ 学校教育課程は、「教育実践コース」、「英語教育コース」、「理数教育コース」、「特別支援教育コース」、「こども発達コース」の5コースからなります。いずれのコースでも全国トップレベルの学力を支えてきた秋田の「実践知」を大学での授業や教育実習を通して学ぶことができます。また、1年次から子どもとじかにふれあう体験活動を系統的に配置し、子ども理解と実践力の向上を図るカリキュラムを用意しました。教師をめざす皆さんが専門的な知識と高い実践力を持ち、4年後には「子どものことが大好き」な教師として教壇に立っていることを確信します。

■ 地域文化学科は、「地域社会コース」、「国際文化コース」、「心理実践コース」の3コースからなります。「地域社会コース」では法学や経済学、社会学などの社会科学系の学問と地域でのフィールドワークを両輪に、総合的な視野から地域の再生と創造をめざす力を養成します。「国際文化コース」では文学や芸術、歴史、言語学などの人文科学系の学問を踏まえながら、外国語学習(英・独・仏・露・中・韓)や海外研修などを通してグローバルな視点から地域を捉え、国際化を進める力を養成します。「心理実践コース」では心理学の基礎理論や実験、面接などの基本技能を学び、地域でのフィールド調査や活動を通して、地域を支える「こころの専門家」の養成にあたります。

■ 今、みなさんに求められているものは、コミュニケーション能力とチーム力です。これは立場や世代が違う人を理解し、自分との接点を見つけ、関係をつないでいく力ともいえます。知の多様性を尊重し大切に教育文化学部において、実習やフィールドワーク、ゼミを通じてこれらの力をしっかりと身につけることができます。

■ 共に学び合きましょう。あなたの大学生活をより多いものにするのは、よき師よき友との出会いです。教育文化学部には、多くの出会いによって、人として成長できる環境が整っています。ぜひ我々と共に学び、夢の実現のための第一歩を踏み出しましょう。

教育文化学部長
佐藤 修司
S A T O H S h u j i

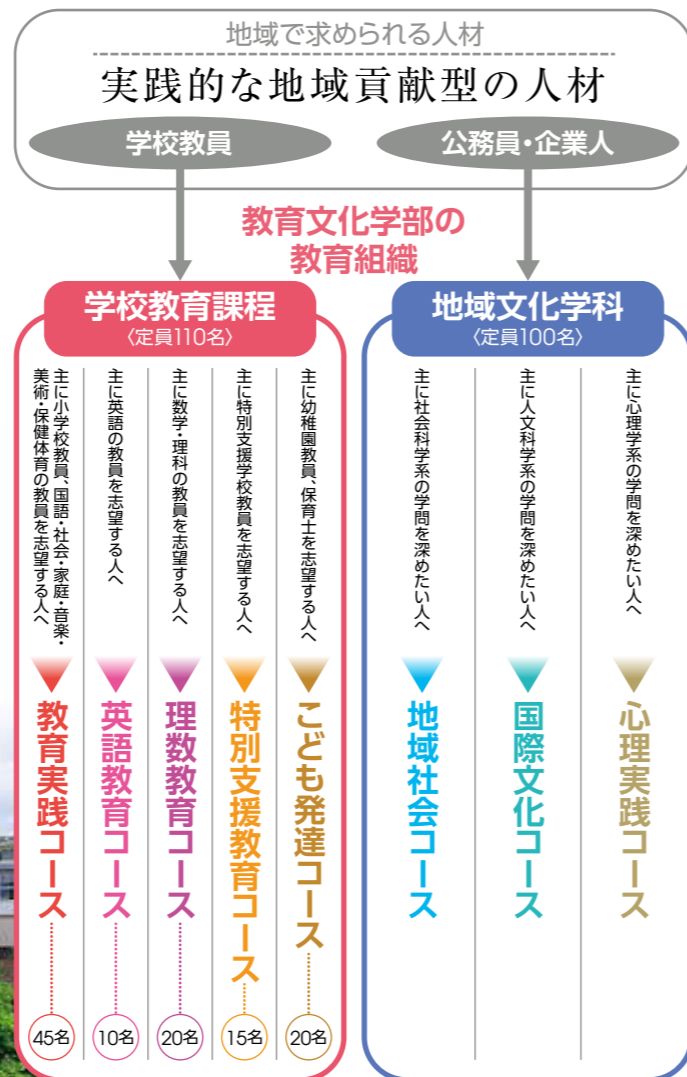


教育文化学部の目的と構成

地域で活躍する
「学校教員」、「公務員」、「企業人」…
秋田大学教育文化学部が
イメージしている
卒業生の「将来像」です！

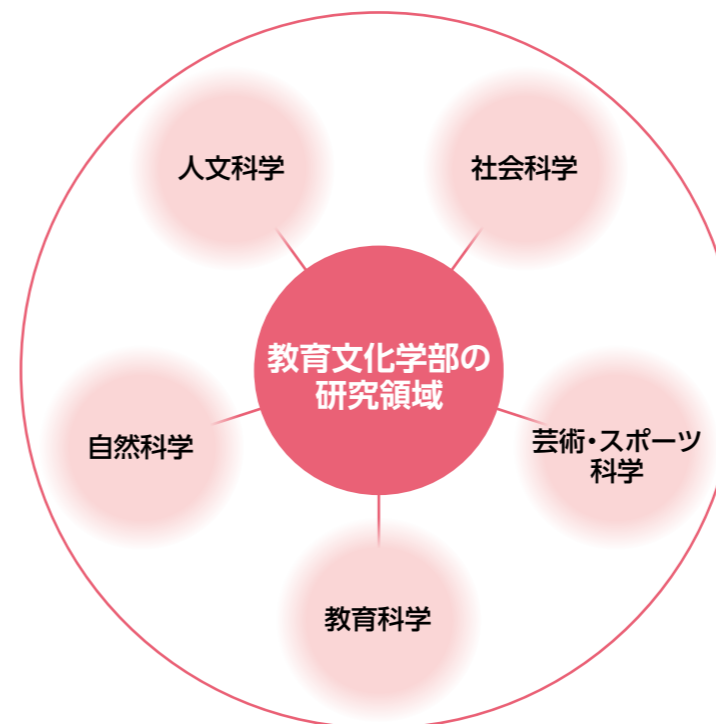
地域で求められる人材を養成します！

- 秋田大学教育文化学部は、「地域を支える総合能力を持つ人材」、すなわち「学校教員」や「公務員・企業人」といった「実践的な地域貢献型の人材」の育成を目指しています。
- 教育文化学部では、この目的を達成するために、「学校教育課程」と「地域文化学科」を設置しています。



地域で求められる課題に対応可能な「多様な研究領域」の教員が在籍しています！

- 地域ではあらゆることに対応可能な、非常に幅広い領域にわたる人材が求められています。
- 教育文化学部では、文系、理系、そして芸術・スポーツ系にわたる多様な研究領域の教員が、教育研究を行っています。
- これらの実践的な教育研究活動を通じて、地域の課題を発見し、解決できる人材を養成しています。



秋田大学 教育文化学部 2021

目次

Contents

高校生・受験生のみなさんへ

教育文化学部の「育てる人間像」…………… 01

教育文化学部の目的と構成…………… 01

教育文化学部の学びの特色…………… 03

取得可能な免許・資格…………… 04

■ 学校教育課程…………… 05

教育実践コース…………… 06

英語教育コース…………… 07

理数教育コース…………… 08

特別支援教育コース…………… 09

こども発達コース…………… 10

■ 地域文化学科…………… 11

カリキュラムの特色…………… 12

地域社会コース…………… 13

国際文化コース…………… 14

心理実践コース…………… 15

在学状況／学生支援基金…………… 16

教員紹介…………… 17・18

国際交流・留学支援…………… 19

関連教育研究機関等…………… 20

キャリア形成・就職支援…………… 21

就職体験談…………… 22

教育文化学部の
学びの特色

「地域」と「大学」の教育資源を
最大限に活用!
秋田大学教育文化学部の
「学び」の特色です!

「基礎学力最高水準の秋田の
学校現場」で学ぶことができる!

秋田県の小中学生は、文部科学省が実施している
全国学力・学習状況調査において、
基礎学力が最高水準にあることが確認されました。
この快学を陰で支えているのが本学部です。

全国トップレベルの秋田の学力を支えてきた
教育現場の先生方が蓄えてきた「実践知」を、
本学部で学ぶことができます。

「秋田県」を教材に
実践的に学ぶことができる!

秋田県は、世界の中でも
「少子高齢化」が最も早く進んでいる地域のひとつです。
本学部では、このような現代社会の最先端の課題や事例を
教育研究の題材として扱ってきました。

地方が抱える問題を教材に、
より身近にそしてより実地に接することで、
「地域とは何か」「地域を支える人材とは何か」、
そして「地域活性化には何が必要か」ということを
本学部で学ぶことができます。
本学部で学んだ知識は、秋田県はもちろん
すべての地域の活性化に応用可能です。

「4つの附属学校園」を活用して
学ぶことができる!

本学部には幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の
4つの附属学校園があり、それぞれ特徴を持ちながら
多彩な教育実践の教育研究を行っています。
教員をめざす学生が「教育実習」の場として活用することで、
より実践的に教員として必要な能力を高めることができます。

特に本学部の附属学校園は全国的にも希有な例として、
ひとつの場所にすべての施設が設置されているので、
幼稚園と小学校、小学校と中学校といった「異校種間の連携」や、
障がいのある子どもたちとともに学ぶ
「インクルーシブ教育(9ページ参照)」について、
より深く学ぶ環境が整備されています。

「地方創生センター」と連携して
学ぶことができる!

秋田大学には、地域研究に関する成果を活用して
地域の発展に寄与するための
「地方創生センター」が設置されています。

本学部は、地方創生センターと連携し互いに協力しながら、
教育研究資源としての「地域」を活用することを通じて、
地域についてより深く学ぶことができる環境を整えています。

秋田大学教育文化学部で取得可能な免許・資格

■学校教育課程で取得可能な教員免許状 ^(注1) ◎必須(卒業要件) ○可能

コース	小学校 教諭1種	中学校 教諭1種	小学校 教諭2種	中学校 教諭2種	高等学校 教諭1種	特別支援学校 教諭1種	幼稚園 教諭1種
^(注2) 教育実践 コース	《パターン①》小学校1種免許を主免とし、中学校1種を副免とする者	◎ 国、数、理、社、英、 家、音、美、保体			○ 国、数、理、地歴、公民、 英、家、音、美、保体	○	○
	《パターン②》小学校1種免許を主免とし、中学校2種を副免とする者	◎		◎ 国、数、理、社、英、 家、音、美、保体	○ 国、数、理、地歴、公民、 英、家、音、美、保体	○	○
^(注3) 英語教育 コース	《パターン①》中学校1種免許を主免とし、小学校2種を副免とする者	○ 英語	◎		○ 英語	○	○
	《パターン②》小学校1種免許を主免とし、中学校1種を副免とする者	◎ 英語			○ 英語	○	○
^(注3) 理数教育 コース	《パターン①》中学校1種免許を主免とし、小学校2種を副免とする者	○	◎ 理科もしくは数学	◎	○ 理科もしくは数学	○	○
	《パターン②》小学校1種免許を主免とし、中学校1種を副免とする者	◎	◎ 理科もしくは数学		○ 理科もしくは数学	○	○
特別支援教育コース		◎ (どちらか)	○	○ 国、数、理、社、英、 家、音、美、保体	○ 国、数、理、地歴、公民、 英、家、音、美、保体	◎	○
^(注4) こども発達 コース	《パターン①》幼稚園教諭1種免許を主免とする者 ^(注5)	○	○ 国、数、理、社、英、 家、音、美、保体	◎	○ 国、数、理、社、英、 家、音、美、保体	○	◎
	《パターン②》小学校教諭1種免許を主免とする者 ^(注6)	◎	○ 国、数、理、社、英、 家、音、美、保体	○	○ 国、数、理、地歴、公民、 英、家、音、美、保体	○	○

(注1) 教員免許状には、1種免許状と2種免許状があります。2種免許状の学校種・教科で教員に就職した場合、就職後に講習を受けて1種免許状を取得することが必要になります。2種免許状より多くの単位を修得すれば1種免許状を取得できます。
(注2) 教育実践コースでは、必須(卒業要件)となる免許を、「小学校教諭1種」(主免)に加え、「中学校教諭1種」(副免)あるいは「中学校教諭2種」(副免)から選択することができます。

(注3) 英語教育コース及び理数教育コースでは、必須(卒業要件)となる免許を「中学校教諭1種+小学校教諭2種」と「小学校教諭1種+中学校教諭1種」から選択することができます。
(注4) こども発達コースでは、必須(卒業要件)となる免許(資格)を「幼稚園教諭1種+保育士+小学校教諭2種」と「小学校教諭1種」から選択することができます。

(注5) こども発達コースで幼稚園教諭1種を主免とする者は、保育士資格と小学校教諭2種を合わせて取得することが必須(卒業要件)となります。
(注6) こども発達コースで小学校1種を主免とする者は、義務ではありませんが、幼稚園教諭1種、保育士、社会教育主事、学校図書館司書教諭などを選択して取得するよう指導します。

【保育士】

- 保育士資格は児童福祉法で規定されている保育に関わる国家資格です。
- この資格は乳幼児を対象とする保育のほか、児童養護施設、母子生活支援施設、障害児(者)施設、乳児院などでも必要です。幼保連携型認定こども園の「保育教諭」は幼稚園教諭と保育士資格の併有が必要です。
- 教育文化学部では規定の単位を修得して幼稚園教諭・小学校教諭の免許状とともに保育士資格を取得することが可能です。こども発達コースのカリキュラムで学ぶ学生が取得できますが、20名の養成定員内であれば、特別支援教育コースや教育実践コースの学生も希望によって取得できます。

【社会教育主事】

- 社会教育主事とは、都道府県及び市町村の教育委員会に置かれる専門職です。公民館・図書館・博物館等の社会教育施設の職員や、青少年団体・婦人会・PTA等社会教育関係団体の指導者に、社会教育施設の在り方やその活動、社会教育関係団体の運営や活動について、専門的な指導、助言を行います。
- 教育文化学部で開講している、文部科学省令で定める社会教育に関する科目を履修して修得することにより、社会教育主事となりうる資格(任用資格)が得られます。また、「社会教育士(養成課程)」と称することができます。

【学校図書館司書教諭】

- 学校図書館司書教諭とは、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に設置された学校図書館で専門的職務を行うための資格です。
- 学校図書館司書教諭の資格取得要件は、小・中・高校・特別支援学校教諭の普通免許状の取得と文部科学大臣の委託を受けた大学等が行う講習の受講です。
- 教育文化学部在学中に資格取得に必要な科目の単位(10単位)を全て修得した場合は、講習科目の単位を修得したものとみなされます。

【公認心理師・認定心理士】

- 公認心理師は、心理職初級国家資格です。大学において必要な科目を修めて卒業し、かつ大学院において必要な科目を修めて修了(または2年以上の実務経験)することにより受験資格を得ることができます。
- 認定心理士は、大学で心理学を専門的に学んだことを証明するものです。卒業論文が心理学関係でなくても、必要単位数を取得すれば資格申請できます。

【日本スポーツ協会公認スポーツ指導者】

- 公認スポーツ指導者とは、(公財)日本スポーツ協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき認定する各種資格の総称です。
- 卒業までに必要な単位を修得し、申請することにより、スポーツ指導基礎資格の「スポーツリーダー」を取得することができます。
- マネジメント資格の「アシスタントマネージャー」については、養成講習会の受講が免除され、卒業年度の検定試験に合格することによって資格を取得することができます。
- その他、競技別指導者資格等の専門資格を取得するための講習会を受講する際に、共通科目Ⅰ・Ⅱの部分が免除されます。
- 各種資格の詳細は、日本スポーツ協会ホームページを参照してください。
(<https://www.japan-sports.or.jp/>)

学校教育課程

地域の教育の活性化に
貢献する教員の養成

教育実践コース

英語教育コース

理数教育コース

特別支援教育コース

こども発達コース



学校教育課程 教育実践 コース

募集定員45名

【対象】

- ▶ 小学校教員を志望する人
- ▶ 主に国語・社会・家庭・音楽・美術・保健体育の中・高の教員を志望する人

- ◆ 高度な教育実践力を備えた小学校教員を養成するコースです。
- ◆ 各教科指導の専門性と同時に、教科を超えた探究的な授業づくりができる教員を養成します。

卒業要件となる教員免許状

小学校教諭1種免許状及び中学校教諭1種免許状(国語・社会・数学・理科・英語・家庭・音楽・美術・保健体育)
または
小学校教諭1種免許状及び中学校教諭2種免許状(国語・社会・数学・理科・英語・家庭・音楽・美術・保健体育)

【コースの特色】

高度な教育実践力を備えた教員の養成

各教科について幅広く学ぶことができます。全国トップクラスの学力を支える秋田の教師力を継承し、実践の場で活かすことのできる専門性を身につけることができます。

より深い教科の専門性

学びを深めたい教科を選んで中学校教員の免許を取得することができます。その専門性を基礎として、小中連携に活躍する力量を形成することができます。

実践的な教育カリキュラムの充実

附属小学校と公立小学校の両方で教育実習を経験することによって、小学校教育現場の実際について深く学ぶことができます。実習だけではなく実践的な授業も開設しており、授業の中でも教育の現代的な課題について学ぶことができます。



附属小学校での教育実習の様子



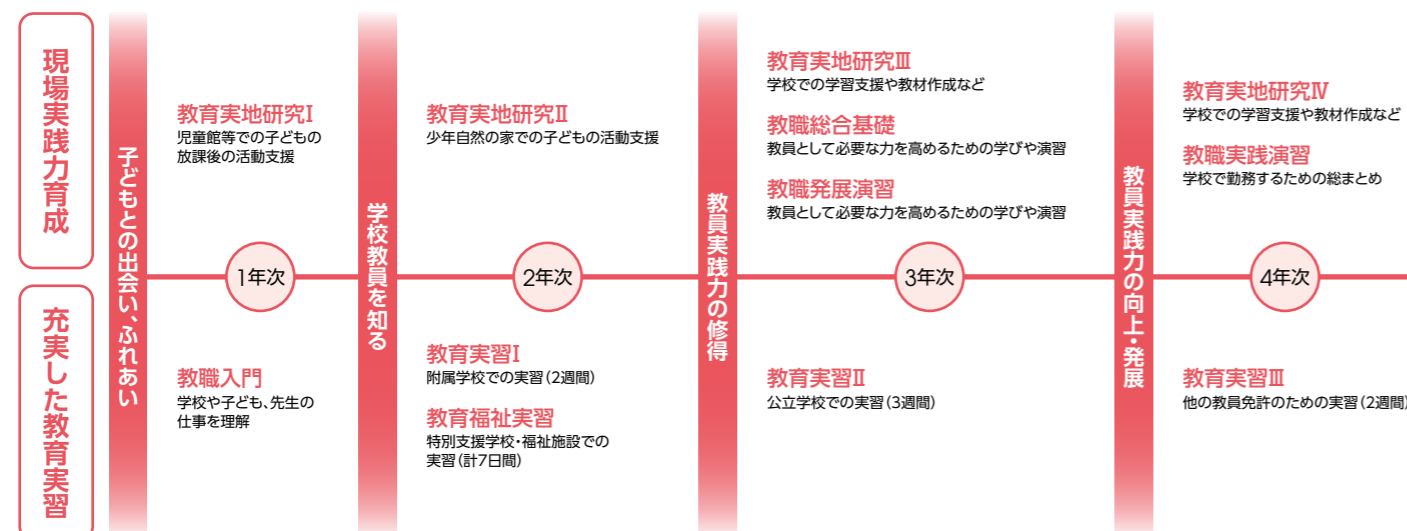
スキー実習の様子(初等体育)

【学校教育課程の特徴】

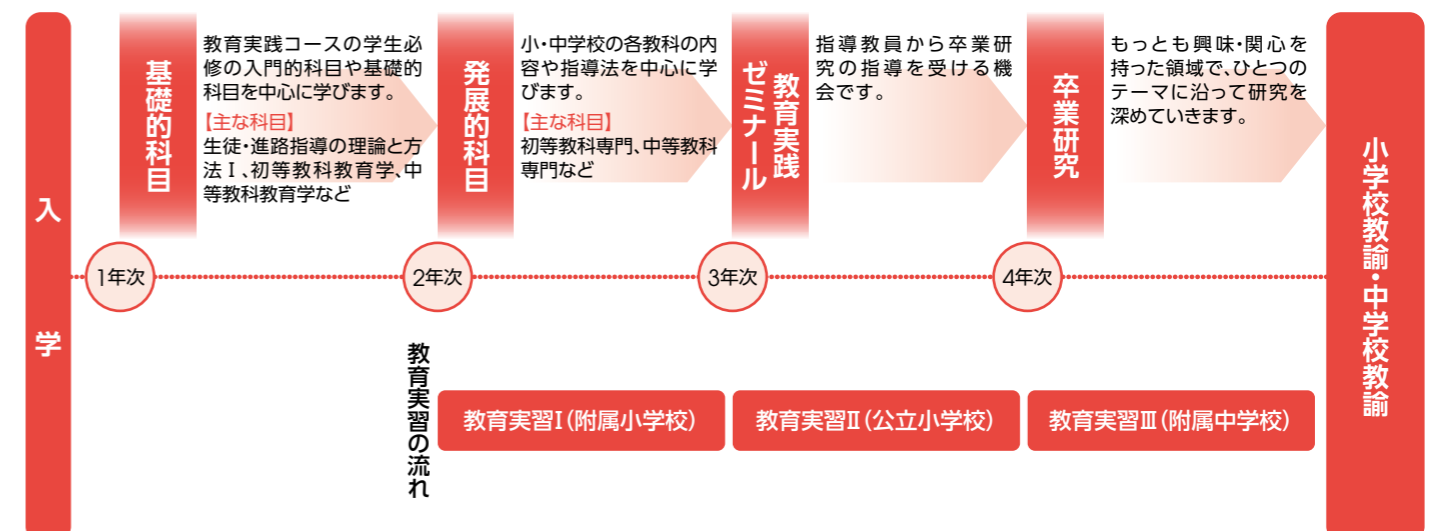
1. 秋田の教育界と連携し、全国トップクラスの学力を支える学校現場での実習を通して、高度な教育力を身につけることができます。
2. インクルーシブ教育や小学校での外国語活動・理科実験、防災教育、幼保小の連携などを学ぶことができます。
3. 教職入門、教育福祉実習(介護等体験)、附属学校園と公立学校での教育・保育実習を系統的に行うことによって、より確かな実践力を養うことができます。
4. 段階的に行われる教育実地研究での学校や児童館、少年自然の家などにおけるボランティア体験を通して、子どもたちの様々な姿をとらえ、子どもたちの視点にたつことの重要性を肌で感じることができます。

学校教育課程のカリキュラムの基本

教員・保育者に必要な能力を身につけることを目指し、「教育実習系科目」と「現場実践力育成」を軸にカリキュラムを構成しています。



【教育実践コースの専門教育科目と実習】



学校教育課程

英語教育 コース

募集定員10名

【対象】

- ▶ 英語の中・高の教員及び小学校の教員を志望する人
- ▶ 英語能力や異文化コミュニケーション能力を高めたい人

- ◆ 小学校から高校まで連携した英語教育を実践できる英語教員を養成するコースです。
- ◆ 英語力のみならず、異文化間コミュニケーション能力を持ち、学校教育における異文化教育を推進し、次世代のグローバル人材を育成する英語教員を養成します。

■ 卒業要件となる教員免許状

中学校教諭1種免許状(英語)及び
小学校教諭2種免許状
または
小学校教諭1種免許状及び中学校教諭1種免許状(英語)



Students not only learn from teachers...



...but from each other as well

【コースの特色】

小学校から社会人までを視野に入れた英語教育

言語を身につけるメカニズムの研究を基礎として、英語教育それぞれの段階にふさわしい英語の教え方を考え、身につけていきます。

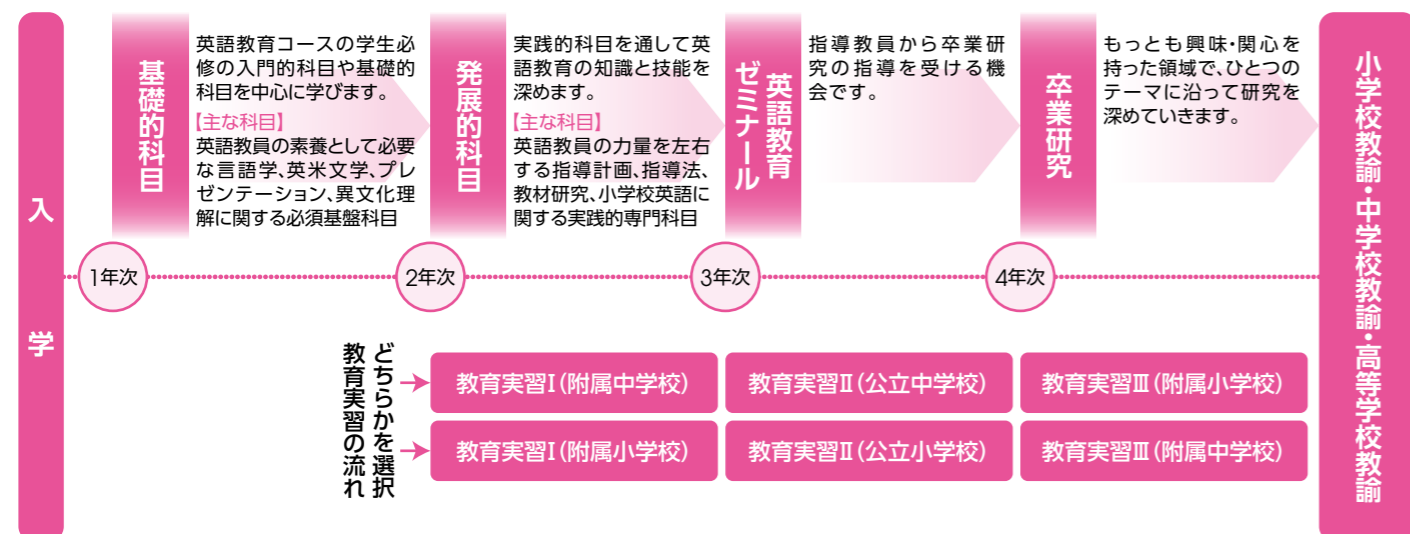
異文化をつなぐ教員の資質育成

日頃から、ALT、留学生、協定校との交流で基礎力を高めつつ、短期海外研修、協定校への留学を視野に入れたカリキュラムで、異文化をつなぐ教育者の資質を鍛えます。

英語で授業をする教員の養成

英語で授業をする能力はもちろんのこと、その背後にある社会や文化について理解を深め、異文化の人々と充実した交流ができるレベルの英語力を身につけます。

【英語教育コースの専門教育科目と実習】



学校教育課程

理数教育 コース

募集定員20名

【対象】

- ▶ 理科・数学の中・高の教員及び小学校の教員を志望する人
- ▶ 自然科学や数理科学の能力を高めたい人

- ◆ 自然科学や数理科学の分野において、高い専門性を持った理数系教員を養成するコースです。
- ◆ 理科・数学指導の実践的スキルにすぐれ、新しい理数教育を開拓していくことができる教員を養成します。

■ 卒業要件となる教員免許状

中学校教諭1種免許状(理科または数学)及び
小学校教諭2種免許状
または
小学校教諭1種免許状及び
中学校教諭1種免許状(理科または数学)

【コースの特色】

理科教育や数学教育につよい教員の養成

充実した教授陣による少人数教育で、理科や算数・数学の専門的知識を習得でき、高い指導力が身につきます。

理科・数学の好きな子どもを育てる秘訣の伝授

多彩な実験、野外実習授業や演習・ゼミナールで、理科や算数・数学の好きな子どもを育てる秘訣がわかります。

自分の頭で考える!

「自分の頭で考える」「実際にやってみる」ことを大切にします。実感を伴った理解へと学習を発展させることができる教員を養成します。

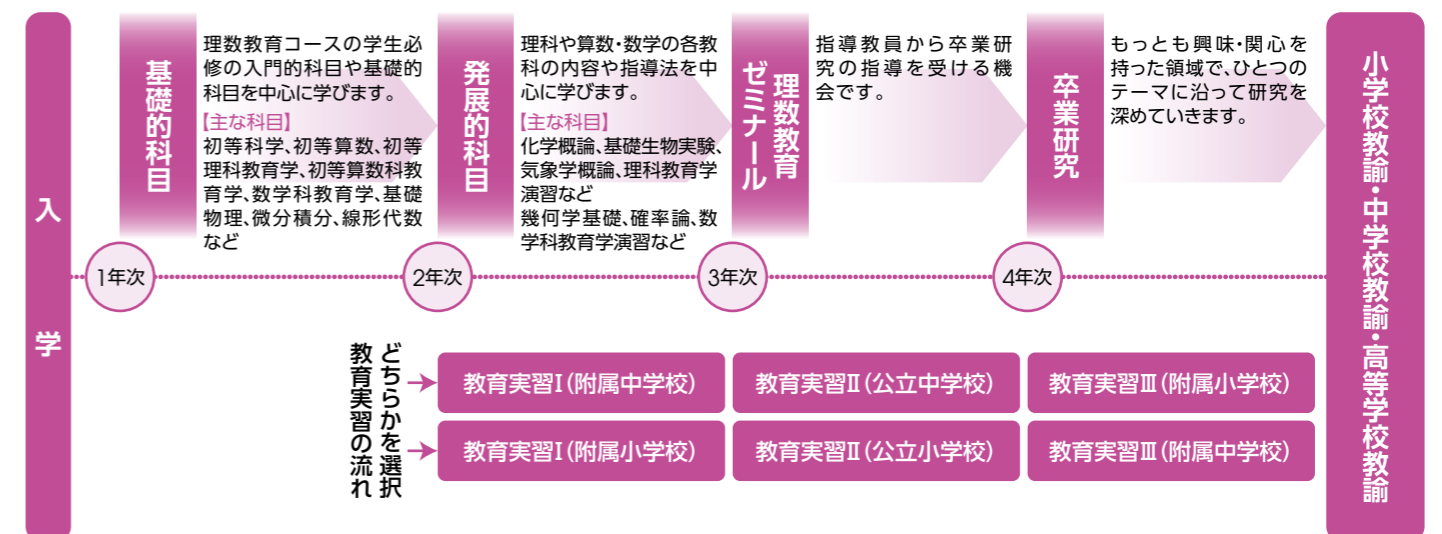


3年生理数教育ゼミナール発表会



中学校理科の内容の実験実習の様子

【理数教育コースの専門教育科目と実習】



学校教育課程

特別支援教育コース

募集定員15名

【対象】

- ▶ 特別支援教育やインクルーシブ教育の能力を高めたい人
- ▶ 特別支援教育の教員を志望する人

- ◆ インクルーシブな環境で、発達の特長や特別なニーズに対応した支援を実践できる教員を養成するコースです。

■ 卒業要件となる教員免許状

特別支援学校教諭1種免許状、及び
小学校教諭1種免許状または
中学校教諭1種免許状



特別支援学校での教育実習



様々なボランティア活動

【コースの特色】

障がいのある子どもの心理や支援を深く考えられる教員の養成

知的障がいや病弱、肢体不自由を中心に幅広い障がいについて学びます。障がいに対する理解はもちろんのこと、発達検査や支援方法など実際の教育現場で活かせる勉強ができます。

障がいを多面的に捉えられる教員の養成

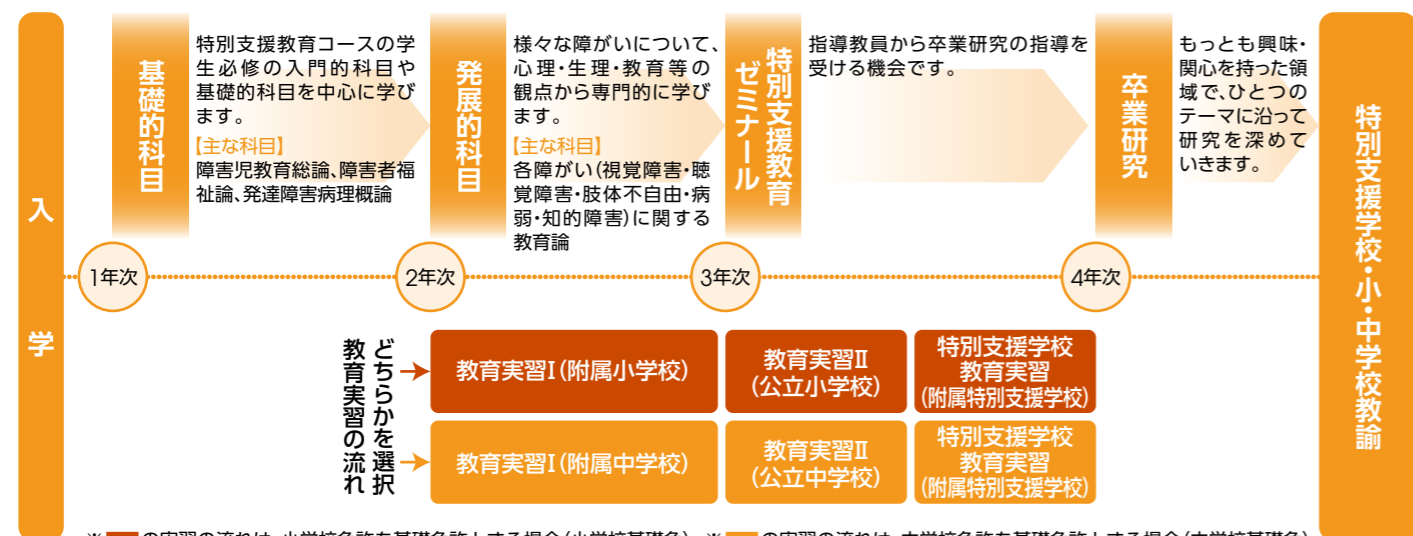
同じ障がい名がついていても、子ども一人一人は違います。その違いの背景を多面的に捉えることのできる教員を養成します。

学校や地域におけるインクルーシブ教育の体験

様々な実習や演習に加え、ボランティア活動による障がいのある子どもやその家族とのかかわりを通して、授業外でも学校や地域におけるインクルーシブ教育[※]を肌で感じることができます。

[※]障がいのある児童生徒が、障がいのない児童生徒と共に学ぶことにより、その能力の発達と社会参加を進めていくシステム

【特別支援教育コースの専門教育科目と実習】



※ の実習の流れは、小学校免許を基礎免許とする場合(小学校基礎免許) ※ の実習の流れは、中学校免許を基礎免許とする場合(中学校基礎免許)

学校教育課程

こども発達コース

募集定員20名

【対象】

- ▶ 幼稚園教諭・保育士(保育教諭)を志望する人
- ▶ 幼保小連携に対応する保育・小学校教員を志望する人

- ◆ 幼稚園教諭・保育士(保育教諭)及び小学校教員の養成を主とするコースです。

- ◆ 幼保小連携に対応できる保育・小学校教員を養成します。

■ 卒業要件となる教員免許状

幼稚園教諭1種免許状、保育士資格及び
小学校教諭2種免許状、
または小学校教諭1種免許状



附属幼稚園での教育実習の様子



附属小学校での教育実習の様子

【コースの特色】

子どもの発達・教育を支援する教員の養成

子どもの発達を見通しながら、乳児期から児童期の子どもにかかわる教育や支援をすることができる教員・保育士を養成します。

子どもと共に実践力を磨く

幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、児童館、乳児院などでの実習・ボランティアを通して、子どもから学ぶことがたくさんあります。子どもと共に過ごす機会を多く持つことによって実践力を磨くことができます。

多様な視点から子どもを考える

主に乳幼児期から小学生の子どもたちの生活や教育に関わる幅広い課題について、教育学や発達心理学などの分野の多様な視点から学ぶことができます。

【こども発達コースの専門教育科目と実習】



※ の実習の流れは、幼稚園・保育士の資格取得に重点をおく場合 ※ の実習の流れは、小学校免許の資格取得に重点をおく場合

地域文化 学科

地域の活性化に貢献する
公務員・企業人の養成

募集定員100名

地域社会コース

国際文化コース

心理実践コース



【地域文化学科の特徴】



東北地域ブランド総選挙で最優秀賞を受賞(地域学基礎)

1. 地域の活性化に貢献する人材の養成

今、何よりも必要とされているのが、地域の活性化に貢献できる人材の養成です。そして、地域の現状を日本全体やアジア・欧米をも視野に入れて多角的に把握しつつ、解決策を模索する力が求められています。地域文化学科では、秋田を含む様々な地域や国の社会・文化・人のあり方について社会科学と人文科学の観点から総合的に学び、「グローバル」と「ローカル」の双方向的視点から地域を理解することで、その課題解決のための知識や考え方を身につけます。

2. 地域社会での「体験」の重視

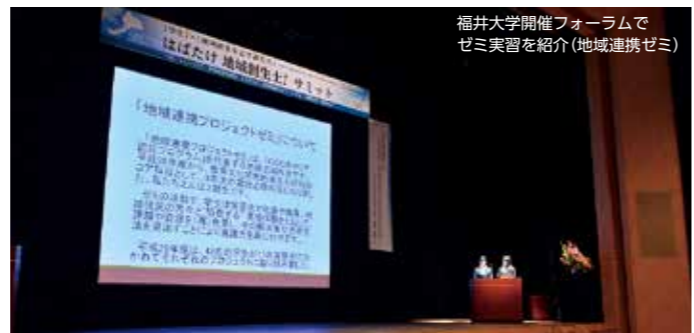
フィールドワークや学生参加型授業によって、地域の諸課題を見出し、様々な人々とのコミュニケーションや協働といった「体験」を通して、地域の实情に即した解決方法を学びます。地域を支えることの大切さとやりがいを実感できるよう、「体験」を重視した教育を行います。

3. 国際社会の中で「地域」を考える

国際的な視野を持ち、多様な文化の中で「地域」を捉える力と、「地域」を世界に向けて発信していく力を身につけるために、英語をはじめ、様々な外国語修得プログラムを用意しています。

4. 人々を支援するための実践的な心理学

教育や子育て、医療・福祉など、現代は様々な領域に心理学的支援を必要とする人々がいます。この多様な現場で地域の人々の心に寄り添いながら課題を理解し、実践的な支援を行える人材を養成します。



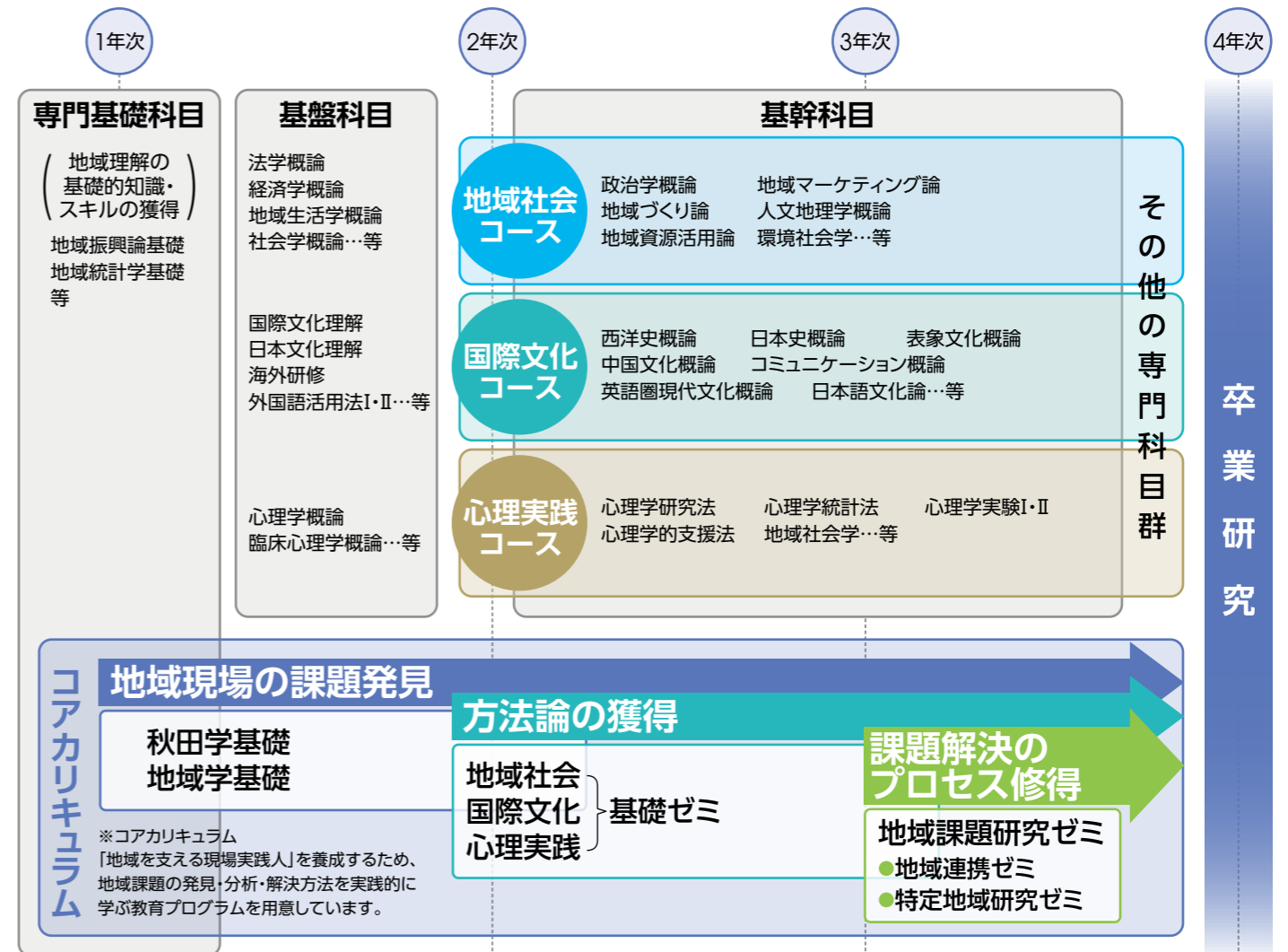
福井大学開催フォーラムで
ゼミ実習を紹介(地域連携ゼミ)

地域文化学科のカリキュラムの特色

地域文化学科では、幅広い教養を身に付けることを前提としながらも、地域社会コースは、地域活性化のための様々な場面をコーディネートする実践力養成を、国際文化コースは、地域の国際化を支えるグローバルな見識と行動力養成を、そして心理実践コースは、地域で生きる人々に寄り添う心理的支援力(及び公認心理師)の養成を実現するため、それぞれの目的に応じた段階的なカリキュラムを用意しています。



1年次から地域に出かけて現場の取り組みや地域資源を体験(1年次「地域学基礎」での活動の様子)



コースの選択

地域文化学科では、1年次は社会を多角的に捉える基礎となる教養科目や、学科全体に共通する専門基礎科目を学びます。2年次になる段階で、各自が専門的学習の中心とするコースを選択します。そこで「地域社会」「国際文化」「心理実践」のいずれかの専門科目を中核としながら、他コースの様々な専門科目も幅広く学ぶことで、深い専門性と多角的な視点を身につけて、地域社会を支えるための実践力の基盤をつくることができます。



海外の文献紹介の様子(特定地域研究ゼミ)

地域文化学科 地域社会 コース

◆教室(理論)と現場(体験)を往還して社会のしくみを実践的に学ぶコースです。



1年次学生と3年次学生での政策の検討



日本一はっとフェスティバル(宮城県登米市)に参加



横手市大雄ほっ圃の視察

【コースの特色】

社会科学の知識を基礎に 総合的に地域を見通す力を育成

法学、政治学、経済学、経営学、社会学などの社会科学の知識を身につけながら、地理学、環境学、食健康学、住環境学や情報科学の素養も併せ持ち、総合的な視野で地域の問題を見通す力を養います。「ガバナンス」「ビジネス&マネジメント」「コミュニティ」の3つの基幹・発展専門科目群が準備されています。

地域に入り多角的に調査する

地域の問題を机上で理解するだけでなく、地域の人々の生活や社会活動、行政や企業の活動の実態を、実際に地域に入り多角的に調査することで、実践的に学びます。

地域資源の再評価

地域の多様な生活資源、環境資源、文化資源等の再発見と評価・活用を行い、産業・働き方・生活のこれからの方向性を提案し、その実現に貢献できる人材を育成します。

【授業紹介】



〈コース専門科目〉
経済学概論

ARAI Souichi
荒井 壮一
講師(経済学)

お金に向き合うということ。みなさんは、どんな意識を持っているのでしょうか。

この授業では、経済学の入門として様々なトピックを広く扱うとともに、最新のニュース記事などを用いて、「経済学的な考え方」について理解してもらうことをこころがけています。例えば、テーマパークにおける有料のファストパスがあります。我々は時に、ある意味で「お金で横入り」する権利を売買しますが、それを居心地悪く感じる人もいれば、便利だと逆に感じる人もいます。

日々変化する社会において、経済活動を巡るルールやそれに対する人々の考え方もまた、刻々と変化していきます。より多くの人が快適に暮らすことのできる社会を考えるために、お金の使われ方やそれに関わるルール・制度に真っ正面から向き合う。そんな覚悟のもとで、地域社会を生き抜く確かな力を養って欲しいと願っています。



学生の声

高校では政治経済未選択であり不安でしたが、思っていたよりも「経済学」という学問がとっつきやすいものであることがわかりました。ニュースを頻繁に扱ってくれるので、経済がより身近に感じられるようになります。

授業終盤で映像作品の上映があり、これまでの授業(経済学の考え方)が上手く総括されていて面白かったです。ユーモア溢れる先生の語り口が毎回楽しみでした。

地域文化学科 国際文化 コース

◆日本を含むアジア、欧米など、世界の多様な文化を学び、グローバルな視点から地域を考えるコースです。



フランス研修より凱旋門前にて

【コースの特色】

人文科学の知見をもとに、世界の中の 日本、東北、秋田を学び、考える

このコースで特に重視される分野は、人文科学の中核となる文学、芸術、歴史、思想、言語学などです。自らを取り巻く地域の文化を広い視野で捉え、地域の国際化の基盤となるグローバル感覚を身につけながら、異なる文化間の交流を促進するための方策を学びます。

外国語を学び、地域の特質を 海外へ発信する力を身につける

外国語学習(英語・独語・仏語・露語・中国語・朝鮮語)や海外研修の機会を活用しながら、外国語の実践的な運用能力や語学を通した視野の広がりを獲得し、地域の持つ様々な特色を国内外へ発信する力を身につけます。

国際的視野を持ち、 地域を活性化できる人材の育成

世界と自分のいる地域社会の双方を視野に入れ、伝統文化の継承・伝承・地域文化の現状把握、将来に向けてのあるべき姿の構想など、地域の現状に即した問題解決力を持つ人材を育成します。



英語による授業(言語コミュニケーション概論)



方言聞き取り調査の様子

【授業紹介】



海外研修
(韓国夏期短期研修)

TAKAMURA Ryohei
高村 竜平
准教授(文化人類学)



民俗音楽体験の様子

韓国の大学で行われる、約二週間の夏期短期研修に参加し、韓国語教育と伝統文化体験、韓国側の学生との交流等を行っています。学内の寄宿舎で生活し、自由時間には地下鉄などで市内に出て行くことで、プチ留学体験ができます。日本国内の他の大学からも学生が多数参加するので、韓国に関心を持つ学生同士の交流もできます。

韓国語のクラスは、事前のプレイメントテストにより分けられるので、自分のレベルにあった授業を受けることができます。授業そのものが韓国語で進行しますし、また自由行動をするときには韓国語を使わなければならないので、二週間韓国語づけになれます。韓国人学生と直接お話しできる機会も複数あります。

海外の言語・歴史・文化を現地で学ぶことは、自己の知見を深めるだけでなく、自分が住む地域を考え直す契機ともなります。このような海外研修も本コースの教育の中核となっています。

学生の声

コミュニケーションの時間には、韓国の学生と韓国での生活や自分の趣味、日本のことなど様々な話をした。すべてを韓国語で伝えることは難しく大変だったが、自分の知っている単語に言い換えたり携帯を使ったりなどしてコミュニケーションをとることができた。

地下鉄で困っていたら一緒に乗っていたおじさんが丁寧に道を教えてくれ、私たちのつたない韓国語を理解しようとしてくれたり、映画館でチケットの買い方がわからないと、お兄さんが買うのを手伝ってくれた。このような韓国の人達の優しさに触れて、国と国との関係も大事だが、人と人との関係がもっと大切だと感じた。

地域文化学科 心理実践 コース

- ◆「こころの学」を探求し、地域を支える人材を育てるコースです。
- ◆心理学を確かな学問として身につけ、同時に教室を離れた現場でも実践力を鍛えます。



【コースの特色】

基礎から実践まで体系的な学習

本コースでは、人間の心の動きに関心を寄せ、心理学の幅広い領域について基礎的理論、実験や統計法、面接の基本技法などを体系的に学び、それらを応用できる力を育てます。

「こころの学」を携えて地域へ

本コースでは、積極的に地域に出かけ、フィールド調査や活動を通して、心理学的援助を必要とする人々を深く理解する態度を育てます。



心理学基礎実験の様子



教育心理学実習

地域を支える 「こころの専門家」の養成

本コースでは、ここでの学びを通して地域を支えるこころの専門家を育成します。日本心理学会が認定する「認定心理士」資格が取得できます。日本臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」資格取得に必要な大学院を目指すための基礎知識や技術が習得できます。国家資格である「公認心理師」を取得するための科目にも対応しています。学部と大学院で指定された科目を履修するか、学部卒業後所定の実務に2年以上従事することにより受験資格が得られます。

学生の声

コミュニケーションや会話についての意識が変わりました。

授業すべてが目から鱗の連続でした。

もっとじっくりやりたかった。

必ず問題を解決しなければいけないという考えが変わりました。

演習が多いため、受講学生と活発に交流して議論ができた。

話を聞く時、相手の話を引き出す方法を知ることができた。

生活に活かせるところがたくさんあった。

【授業紹介】

〈コース専門科目〉

心理演習(ロール
プレイの実際)

SHIBATA Ken

柴田 健

教授(臨床心理学)



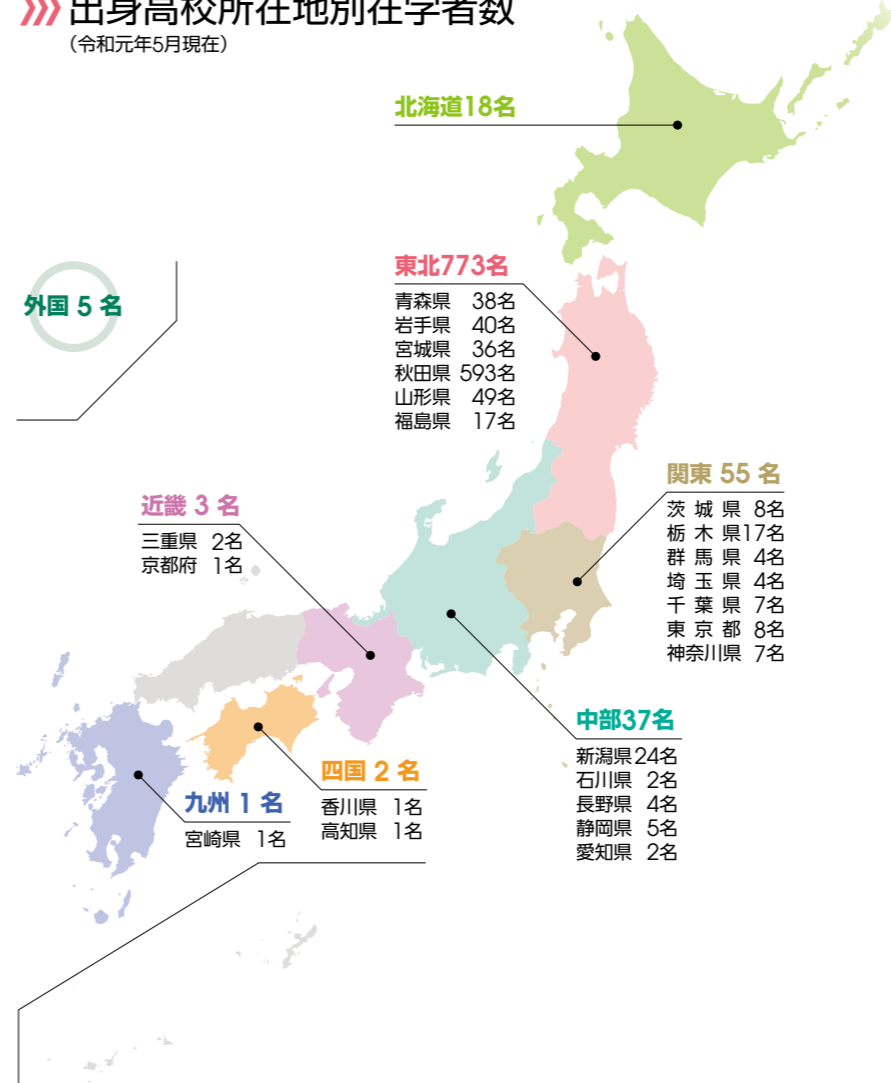
相手にとって心地よい話し方とはどのようなものなのでしょうか。この授業では、カウンセリングなどの対人支援の中で行われるコミュニケーションについて体験を通して学びます。

まずはコミュニケーション技法の基礎理論についてじっくりと学びます。その後は話し手と聴き手を決めてロールプレイを繰り返し、会話の中で何が起きたのかを全員でディスカッションすることを通して援助的なコミュニケーションの技術について考えていきます。

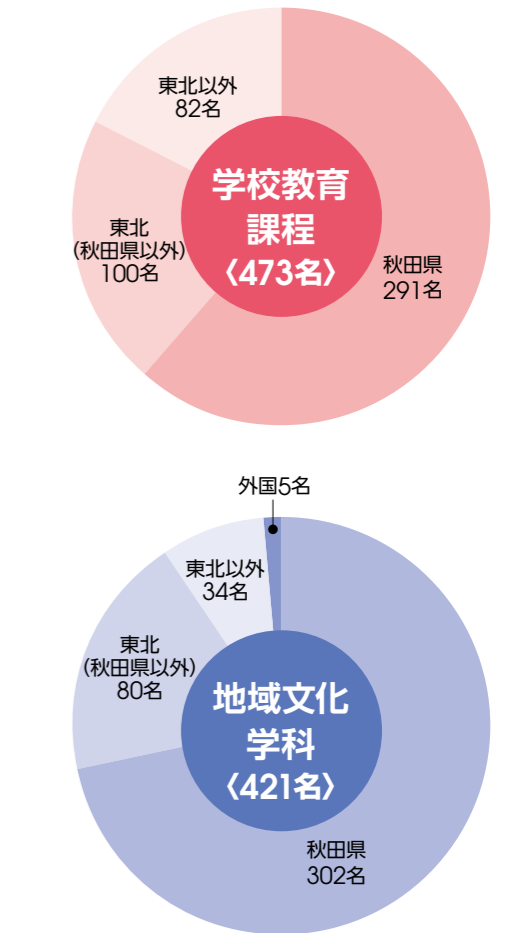
1対1のコミュニケーションから始め、相手に溶け込む方法、相手の自信や可能性、資源を引き出す方法について体験していきます。授業終了後には少しでも友人や家族との会話が変わっているかもしれません。

在学状況

出身高校所在地別在学者数
(令和元年5月現在)



課程・学科別在学者出身地
(令和元年5月現在)



学生支援基金

●秋田大学教育文化学部では、学生の皆さんが不安のない充実した大学生活を送ることができるよう、本学部独自の学生支援基金を設け、貸し付け事業を行っています。

●経済的理由で授業料・入学料の期日内納付が困難である、海外研修の費用が足りない、就職活動や教育実習でアルバイトができず、生活費や就職活動等の旅費が足りない、等の場合に支援金を貸与します。

●具体的には次のような状況の際に申し込むことができます。

【1】経済的な理由により入学料・授業料が払えない場合

- ◆授業料・入学料の半額を限度に支援金を無利子で貸与します。
- ◆学生本人からの申請書等を審査し、面談の上、貸与の是非を決定します。
- ◆返還は貸与後1年以内とし、学生本人の在学中に返済を完了するものとします。

【2】次の①～③の状況下で、学習・授業に集中することによって生活が困窮する場合

- ①卒業研究や教育実習等の長期の実習のための資金、あるいはその間の生活費が足りない。
- ②海外研修のための資金、あるいはその間の生活費が足りない。
- ③県外就職活動または県外での教員・公務員採用試験等の旅費が足りない

- ◆1人1回10万円を限度に支援金を無利子で貸与します。
- ◆学生本人からの申請を審査し、貸与の是非を決定します。
- ◆返還は貸与後1年以内とし、学生本人の在学中に返済を完了するものとします。

※なお、詳細は本学部ホームページをご覧ください。



教育文化学部マスコット
カモン

2020年度 教育文化学部教員紹介 (2020年4月1日現在)

(2020年4月1日現在)

コース	教員名	研究分野	研究テーマ	関心事
教育実践	阿部 昇	国語科教育学	文学作品および説明的文章の読み方教育論	発問論・学習集団論を含む授業研究、メディアリテラシー教育
	石井 宏一	構成・デザイン	情報表現方法の開発、情報表現とデザインプロセスとの関連	コンピュータ・グラフィックス、情報デザイン、数理的規則性に基づく造形表現
	石原 慎司	音楽教育学・指揮法	今日の文化と音楽科に関する研究	授業方法論、オーケストラ指揮法
	伊藤 恵造	スポーツ社会学	地域生活とスポーツ	都市郊外のニュータウンにおけるコミュニティ再編
	遠藤 敏明	美術・工芸教育	スウェーデン・スロイド教育学	木材工芸～木造建築
	加納 隆徳	社会科教育学	法教育論「話し合い活動」の研究	法教育の教材開発や中等教育における教科連携授業の開発
	佐々木 信子	家庭科教育学	家庭科の各分野における校外体験活動プログラムの開発研究	家庭科教育における地域連携のあり方
	佐藤 靖	スポーツ運動学	球技運動学の体系化	ハンドボールの指導方法論
	三戸 範之	武道方法学	柔道指導法に関する研究	柔道の技能向上、柔道の指導法
	為我井 寿一	声楽	声楽演奏法、歌唱指導法	歌唱学習者や指導者のメンタル面に関する支援の在り方
	外池 智	社会科教育学	地域の教育資源、地域素材を活用した教育研究	歴史教育、戦争遺跡の活用、戦争体験「語り」の継承
	長瀬 達也	美術教育学	自由画教育運動などの美術教育史研究	21世紀における美術教育の在り方、表現に対する苦手意識の克服、小学校教員に対する図画工作科指導への意欲喚起
	成田 雅樹	国語科教育学	文章表現教育の指導法及び評価法の研究と教材開発	読み方指導と書き方指導の関連・統合のための基礎研究
	堀江 さおり	家庭科教育学	家庭科における消費教育の効果的な実践	指導力のある家庭科教員の養成
	松下 翔一	バイオメカニクス、トレーニング学、コーチング学	陸上競技選手におけるトレーニング方法論の構築に関するコーチング学的研究	跳躍選手の競技力向上、指導におけるコーチングモデル
	松本 奈緒	体育科教育	体育授業の質的研究、体育の教師教育研究、カリキュラム論	ムーブメント教育の理論と実践、ダンス学習者の認知、体ほぐしの運動の学習事例、体育の教員養成における省察
	山崎 義光	日本文学(近代)	20世紀の日本文学	文学と社会・時代、モダニズム運動
	吉澤 恭子	音楽教育学・音楽学	フランスの学校音楽教育制度	音楽文化に関する教材研究、音楽とダンス、芸術教育としての音楽の学び方
渡邊 和仁	運動生理学	運動時の呼吸循環応答とその調節機構	血圧調節、血流調節、心機能、暑熱・寒冷環境、脱水、生理応答の個人差	
英語教育	佐々木 和貴	初期近代英国演劇	初期近代英国の文学と文化	演劇
	佐々木 雅子	英語教育学、応用言語学	社会文化理論に基づく英語教育	Community Involvement Learning、Teacher Education
	平良 一史	異文化理解	異文化心理、異文化学習	留学を通しての学びと学習者への心理的影響
	星 宏人	英語学、理論言語学	レキシコン、形態論、統語論、意味論、語用論	言語哲学、コミュニケーションと認知
	若有 保彦	英語教育学	英語教科書分析、英語授業分析	英語教材開発、英語教育史
	Paterson Adrian David	応用言語学	English Pronunciation, Testing, Vocabulary Acquisition, Language as a Complex Adaptive System	Evaluating techniques for teaching and assessing English pronunciation and vocabulary
	石井 照久	生物学、生物学教育	野生動物の異常、動物の発生と生殖、動物の生体防御、水生動物の生息調査、生物教材の研究と開発	環境ホルモン、付着動物、動物のDNAとクローン性、ホヤ、生物教育、飼育、解剖教材
	岩田 吉弘	分析化学	生体試料中の微量成分分析、パソコンとセンサーを用いる化学実験教材開発	化学物質の生物環境での移動
	宇野 力	統計学	逐次解析	ランダムウォークと停止規則
	大内 将也	代数学	簡約可能幾何ベクトル空間の分類	概均質ベクトル空間の構造と構成
	河又 邦彦	生物学	ウミホタルの生物学	性決定
	佐藤 学	数学教育学	発展的思考・態度	学習規範、小学校算数科の教材開発、教員養成、授業研究
	清野 秀岳	有機金属化学	不活性小分子の変換、分子触媒の開発	金属酵素の機能・構造・合成機構
	田口 瑞穂	理科教育学	思考力・判断力・表現力を育てるための授業設計	自然の事物・現象の撮影、地学教育
	林 信太郎	地質学、岩石学、地学教育	火山の噴火学、火山防災教育	ジオパークによる地域開発
	林 正彦	物性物理学、超伝導理論	超伝導など低温における量子現象の理論的研究	マクロな現象(日常)とミクロな現象(原子・分子)のつながりを理解すること
	原田 潤一	解析学	非線形偏微分方程式	爆発問題、解の漸近挙動
	原田 勇希	理科教育学、教育心理学	理数教科に特異的な困難と関連する個人差変数の分析	認知の個人差、動機づけ、研究倫理教育
本谷 研	気象学(陸面過程)、水文学、リモートセンシング	積雪過程を含む流域収支の気象学的考察および広域への拡張	東日本域の積雪分布の季節変化・長期的な変動	
山口 祥司	位相幾何学	3次元トポロジー、ねじアレキサンダー多項式	3次元多様体の幾何構造、群の線形表現	
特別支援教育	鈴木 徹	障害児心理学	自閉症スペクトラム障害児のコミュニケーション	自己理解、他者理解、関係性の構築
	武田 篤	特別支援教育、言語病理学	発達障害及び言語・聴覚障害児への支援	発達障害、読字障害、人工内耳
	谷村 佳則	特別支援教育学	特別支援教育の教育課程と授業づくり	知的障害教育、発達保障
	藤井 慶博	特別支援教育学	インクルーシブ教育システム	通常学級における特別支援教育、病弱教育
	前原 和明	特別支援教育、職業リハビリテーション	キャリア教育、就労支援	移行支援、リハビリテーションカウンセリング
こども発達	秋元 卓也	学校経営、理科教育における鳥類学	学校教育目標を実現するための経営構造の分析	管理職、組織、教師力を視点にした経営状況の点検
	奥 瑞生	教職実践	学校経営、教員養成	学校経営
	鎌田 信	教職実践	大学と教育委員会が連携した教員及び管理職養成	少子化における学校再編整備の在り方
	栗林 守	学校経営、教職実践	教職研修の充実・改善	効果的な教職研修の在り方
	小池 孝範	教育哲学、道徳教育論	教育における文化の役割と影響について	人間形成の普遍性と多様性について
	佐藤 修司	教育行政学、教育法学、教育政策学	教育における自由と統制に関わる法制度の原理と歴史・現状	人権教育と教育における人権の確立、教育・研究機関におけるガバナンス改革
	鈴木 翔	教育社会学、学校社会学	思春期の友だち関係と恋愛	学校適応、生徒文化、スクールカースト
	瀬尾 知子	幼児教育・保育学	子どもの食事概念の発達過程	子どもの食事と現代の親子関係、養育者支援
	田仲 誠祐	教職実践、数学教育学	実践的研究リーダー、義務教育学校	小中高連携教育、教師教育、内包的意味

コース	教員名	研究分野	研究テーマ	関心事
学校教育課程	原 義彦	生涯学習学、社会教育学	公民館の経営診断技法、社会教育計画の策定と評価、大学が果たす生涯学習支援の役割	生涯学習とまちづくり、フォルケホイスコレの教育
	廣嶋 徹	学校経営、生徒指導	学校経営の具体的方策	不登校防止策
	保坂 和貴	幼児教育・保育学・発達心理学	乳幼児・児童の遊びにおける創造性・即興的な創発過程に関する研究	舞台演劇・インプロ(即興劇)と遊びの異同
	細川 和仁	教師学、教育工学、カリキュラム論	授業における教師の実践知	授業分析、授業観察、校内研究、教育実習、総合的学習
	三浦 亨	教職実践、国語教育学	授業研究、学級経営、学校運営	効果的な探究型授業の在り方
	山名 裕子	発達心理学・幼児心理学、幼児教育	子どもの認知発達と教育・保育	数量概念の発達と教育・保育、「遊び」中の「学び」
	荒井 壯一	経済学	多様な家計・技術革新を含むニューケインジアン・マクロモデルの構築	非伝統的金融政策(インフレ目標・リフレ政策等)の効果と副作用
地域社会	池本 敦	栄養生物学、食品機能学、食環境学、地域資源活用	地域食資源を活用した健康食品や化粧品の開発による地域産業振興	生活習慣病予防や抗老化・健康寿命延伸を目指した栄養学、サプリメントの有効性と安全性、秋田ブランドの育成
	石沢 真貴	社会学(地域社会学)	コミュニティにおける参加に関する研究	社会変動による地域コミュニティの変容過程、伝統的市場産業と地域再生
	和泉 浩	社会学(社会学理論、都市社会学、音楽社会学、芸術社会学、環境社会学など)	都市、芸術(音楽)を中心に社会のさまざまな問題について研究	芸術、音楽、都市、不平等(格差)、ジェンダー、教育、医療、メディアなど
	上田 晴彦	社会学	コンピュータシミュレーションとその解析	インターネット望遠鏡、科学コミュニケーション
	植村 円香	人文地理学	農村の高齢化と地域農業のあり方	定年退職者の社会参加と地裁的意義
	臼木 智昭	経営学	地域企業の経営戦略	経営戦略、自治体経営、地域経営
	小野寺 倫子	民法	環境損害の民事救済に関する日仏法の比較研究	公共性を有する利益の侵害における私法ないし私人の役割
	佐々木 重雄	計算機科学	プログラミング言語	ネットワーク時代の計算機の利用のあり方
	篠原 秀一	地誌学	漁港漁業・地域ブランド水産物、空間商品化	技術と生活の文化地理、東アジア・北欧、集落地誌
	高樋 さち子	環境政策学	途上国における低炭素社会形成のための環境問題解決	環境資源の持続的修復
	中澤 俊輔	政治学、日本政治外交史	近代日本の警察と秩序維持	災害時の警察の活動、戦前日本の教育行政
	成田 憲二	植物生態学	乾燥・寒冷環境での植物生態、植物群集の構造、草本植物の繁殖生態	種子機能の進化、気候変動への生態系への反応
	西川 竜二	建築環境学	自然環境に最適化した健康・快適な建築環境デザインと住まい方	住環境改善からの健康増進、秋田型エコハウス、建築を通じた地域活性化、住環境教育
	林 武司	水文学、自然地理学	水・物質循環、水利用	都市域の水環境、水資源
林 良雄	情報科学	人文科学とコンピュータ、情報教育	ICT技術を用いた地域活性化、地域資源のデータベース化	
地域文化学科	保坂 正智	地域連携コーディネーター	県内地公体、団体、企業の秋田大学に対するニーズ	県内企業における現状打破・発展のための新しい事業展開
	益満 環	経営学	企業および地方自治体のマーケティング活動	シティプロモーション、商品開発、SNSマーケティング
	棟久 敬	憲法	思想・良心の自由、信教の自由、政教分離原則	精神的自由に関する公権力の行為の憲法的統制
	内田 昌功	中国史	3～10世紀の政治制度史	国家と制度、民族、都市
	大西 洋一	イギリス文学・文化	王政復古期・18世紀の文学と文化	現代演劇、北イングランドの文化
	大橋 純一	日本語学	日本語方言の分布とその動態に関する研究	方言に残る古語、それらの地理的・年代的諸相と展開
	小倉 拓也	哲学、現代思想	現代フランス哲学を中心とした現代思想の理論的研究	言語と身体、他者、生老病死、カストロロフィと共同体
	佐々木 千佳	西洋美術史	イタリア・ルネサンス美術史	祭壇画を中心とするヴェネツィア派絵画の機能と社会との関係
	佐藤 猛	ヨーロッパ中世史	フランス王国の中央と地方	諸侯領、慣習法、英仏百年戦争
	志立 正知	日本文学	塔記を中心とした中世文学	モノガタリと歴史
	高村 竜平	文化人類学	朝鮮半島の文化と近現代史	葬法と墓制、農村社会と民俗、済州島の近現代
	辻野 稔哉	フランス文学・フランス文化、映画論	主に19、20世紀フランスの詩や小説、映像リテラシー	アポリネールの作品群、映画における映像表現の変遷
	中尾 信一	アメリカ文学・アメリカ映画・批評理論	1920年代の文学・ジャンル論・表象文化分析	モダニズムのイデオロギー・文化と社会の関係
国際文化	中村 寿	ドイツ文学・文化論	ユダヤ系ドイツ文学、ドイツ系ユダヤ人による定期刊行物	ドイツ系ユダヤ人、中・東欧のナショナリズム(ドイツ系ユダヤ人のナショナリズム、ナチズム)、オーストリア=ハンガリー、ウィーン、プラハ
	長谷川 章	ロシア文学・文化論	20世紀ロシア文学、ロシア映画史	ロシア・アニメーション史
	羽田 朝子	中国文学・文化	中国近現代文学、女性作家	占領下の文学、満洲国文学
	Horton William Bradley	コミュニケーション学、歴史	インドネシア近現代史、第二次世界大戦、医学史、日本・アジア・米	(1)日本、インドネシアとアメリカの戦後関係、(2)日本占領期インドネシアの医療と社会、(3)20世紀のインドネシア語の資料調査と分析
心理実践	渡辺 英夫	日本近世史	近世流通史の研究	近世都市論、幕末社会論、歴史資料の電子情報処理について、藩社会、絵図研究
	北島 正人	臨床心理学	精神科医療における心理臨床	心理療法と心理アセスメント、治療構造
	木村 久仁子	臨床心理学	福祉心理臨床	相談動機のない人への支援、支援者を行う人への支援
	柴田 健	臨床心理学	効果的な臨床活動	スクールカウンセリング、プリーフセラピー、EMDR、家族
	中野 良樹	教育心理学、学習心理学、生理心理学	洞察と問題解決、感情と認知	人間の感情と行動の関係
	森 和彦	実験心理学、発達心理学	視覚認識とその発生機構モデル、非言語的コミュニケーションとその学校での応用	運動視・立体視に関連した就学前児童等の描画表現(ジェスチャーを含む)とその認知
	石沢 真貴 ※再掲	社会学(地域社会学)	コミュニティにおける参加に関する研究	社会変動による地域コミュニティの変容過程、伝統的市場産業と地域再生

※心理実践コースは、地域社会コースの石沢真貴も指導にあたっています。

詳しくは
秋田大学ホームページ
「研究者総覧」で!



国際交流・留学支援

●教育文化学部では、世界の様々な社会、文化、言語の学習を重要視しており、国際交流の推進、留学支援制度の充実を進めています。

●秋田大学と学生交換に関する協定を結んでいる協定校へ留学する場合、奨学金による留学か私費による留学に関わらず、留学先の授業料が免除されます(期間・形態・私費の場合は上限人数により例外あり)。*本学の授業料は支払う必要があります。

●留学支援制度には「秋田大学みらい創造基金学生海外派遣支援事業」および「教育文化学部国際交流等学術研究交流基金の助成事業」に基づくものと、「外部の留学支援制度」に基づくものがあります。

1. 秋田大学みらい創造基金学生海外派遣支援事業

交換留学生として留学する場合、一定の条件を満たすと渡航費の一部の助成を受けることができます。

2. 教育文化学部国際交流等学術研究交流基金の助成事業

本学部教員が企画する短期滞在交流プログラムに参加する場合および海外の大学へ留学する場合、助成を申請することができます。

3. 外部の留学支援制度

日本学生支援機構の「海外留学支援制度」「トビタテ!留学JAPAN」や、地方自治体(国際交流団体を含む)奨学金、外国政府等奨学金、民間団体奨学金等、留学を支援する制度があります。

*なお、交換協定を結んでいない大学であっても、留学することは可能です。

留学に関する相談窓口を設置しています!

秋田大学では経済的な支援だけでなく、留学先に関する情報や留学に必要な言語運用力、経費等、留学に関するさまざまな事柄についての相談窓口として、「高等教育グローバルセンター」を設置しています。また国際交流協定校の窓口担当教員へも相談できます。

留学体験記

秋田大学 >>> アメリカ 長年の夢だった留学

アメリカ・セントクラウド州立大学へ留学

佐藤 彩佳

学校教育課程/英語教育コース
平成31年度卒業



発表会参加後のディナー(本人右奥)

留学先は、アメリカのミネソタ州にある、セントクラウド州立大学でした。ここでは主に専攻である教育学に関連した講義を受講しました。特に印象に残っているのは音声学の講義です。この講義では、自身の卒業研究のテーマでもある英語の発音について、学びを深めました。研究について、学会に参加して発表をするという機会もいただき、非常に充実した学びとなりました。

学内には多くの施設があり、課題等で行き詰った際には、授業の合間の時間などを活用して、ジムに通ったりピアノを弾いたりしていました。また、自炊をして生活していたため、毎週買い物に行っていましたが、冬は気温がマイナス40℃近く下がるほど寒い日もあり買い物も一苦勞でした。しかし、毎日寮のキッチンに立っていると他の寮生との交流も増え、一緒に日本料理を作ったり遊びに出かけたりと、楽しい思い出もできました。その他の講義以外の活動としては、学内のイベントでピアノを演奏したり、小学校訪問プロジェクトに参加したりしました。現地の学生や様々な国からの留学生と協力して一つのことを成し遂げるという過程の中で多くのことを学びました。

留学生生活全体を振り返ってみると、長年あこがれていた理想の生活とは違い、苦しい時期が長かったように感じます。しかし、それを乗り越えたことで自信が付き、また、さらに英語力を向上させたいという思いが強くなりました。現状に満足せずに上を目指していこうと思うことができるのは、この留学経験があるからこそだと考えます。これからも新たな目標に向かって挑戦し続けていきたいです。

●教育文化学部との主な提携先(大学間・部局間協定*)

*印は部局間協定

中国	●黒龍江大学 ●大連民族学院 ●蘭州大学 ●北華大学 ●西北師範大学
アメリカ	●セントクラウド州立大学
韓国	●国立ハンパット大校 ●圓光大校 ●聖公会大校韓国語学堂*
台湾	●龍華科技大学
ルーマニア	●ブカレスト大学
イスラエル	●ハイファ大学
イタリア	●カリアリ大学
フィンランド	●ラップランド応用科学大学
カナダ	●ニューファンドランドメモリアル大学

●教育文化学部にて在籍する留学生数(過去3年分)

平成31年度 / 53名(国費7名、私費46名)	
学部生	5名(中国4、マレーシア1)
非正規生	48名(中国26、韓国9、台湾3、モンゴル2、イスラエル2、マレーシア1、ルーマニア1、ミャンマー1、アメリカ1、ジンバブエ1、ブルキナファソ1)
平成30年度 / 54名(国費8名、私費46名)	
学部生	4名(中国4)
非正規生	50名(中国27、韓国9、台湾5、モンゴル2、ルーマニア2、フィリピン1、ブータン1、ベラルーシ1、ジンバブエ1、マレーシア1)
平成29年度 / 54名(国費7名、私費47名)	
学部生	6名(中国3、韓国2、ベトナム1)
非正規生	48名(中国24、韓国16、モンゴル2、イスラエル1、フィリピン1、ブータン1、ベラルーシ1、ルーマニア1、台湾1)

韓国 >>> 秋田大学 紙束は捨てられ ませんでした

韓国・国立ハンパット大校
から交換留学

李 政憲 (イ・ジョンホン)



男鹿・なまはげ館にて

皆さん、はじめまして、私は韓国から来たイ・ジョンホンと申します。帰国して荷物を降ろしていたところ、分厚い紙の束に視線が移りました。87cm。後で測ってみた紙の厚さです。日本からこれを選んで来るのは骨が折れました。

しかし、紙束を見ていると、思わず留学一年間の出来事が思い出されます。春のある日には千秋公園に桜を見に行きました。初夏は男鹿の山中でなまはげのお面を被りました。真夏に立てられた竿灯の光は鮮やかできれいでした。秋のスピーチコンテスト、雪が降る日、遅くまで友達と遊んだことがまるで昨日のように近く感じられます。

紙は出来事の数だけ様々です。授業での発表や日本語スピーチの原稿、レポートの資料、お祭りのパンフレット、観光地のチケット、友達と撮った写真…初めは慌てた記憶もあります。しかし、一年間秋田大学で皆と過ごしていたら、いつの間にか自分の紙束はこんなに厚くなりました。

体の太さはすぐ増えていきますが、良い思い出の数はなかなか増えないものです。だから最近では、どうしても捨てられなかった、87cmも厚くなった思い出を振り返りながら、「やはり秋田大学にしておかした」と、そうにやにや笑ったりします。

関連教育研究機関等

附属教職高度化センター

●附属教職高度化センターは、「教職研究部門」「教育実践研究部門」「教員育成連携支援部門」「臨床心理学部門」より構成される研究教育施設です。教育工学センター(1977年発足)、教育実践研究指導センター(1998年改組)、教育実践総合センター(2000年改組)、教育実践研究支援センター(2010年改組)をその前身として、2019年4月に改組しました。秋田県における教員育成の中心的な役割を担うため、秋田県総合教育センター・秋田市教育研究所と連携した取組を行っています。

●当センターは、学習環境研究(学校経営・学校組織研究、学校・教室環境研究)、教育方法研究(授業・教育メディア研究、プログラミング教育、学力向上と学習論研究)、教員研修研究(校内授業研究の支援、リーダーシップ研究)、教員養成研究(教職カリキュラム開発、教育実習・ボランティア)、教育臨床研究(臨床心理相談、いじめ・不登校・学級崩壊問題対応の研究)、教育発達支援(発達支援相談、特別支援教育の研究)、等の多岐にわたる実践的な教育研究を推進しています。



大学院教育学研究科

●大学院教育学研究科は、教職実践専攻と心理教育実践専攻の2専攻で構成されています。学校マネジメントコース(現職教員のみ)の1年を除き、標準履修年限は2年です。

●教職大学院(専門職学位課程)である教職実践専攻は、理論と実践の往還を通じて、学校現場の課題を解決し、実践知の継承と創造に取り組む意欲と高度な力量を有する初等中等教育教員を養成します。学校マネジメントコース、カリキュラム・授業開発コース、発達教育・特別支援教育コースがあり、現職教員院生と学部卒院生がともに学びます。教職チャレンジ制度により原則3年で教員免許状に必要な学部科目を無料で履修できます。

●修士課程である心理教育実践専攻心理教育実践コースは、スクールカウンセラー等のこころの相談にあたる専門家を養成します。大学において指定の心理学等に関する科目を修め、さらに本専攻において指定の科目を修得して修了した者は、公認心理師、臨床心理士、学校心理士の受験資格が得られます。

附属学校園

●附属学校園には、幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校があります。

●教員をめざす学生が教育実習をしたり、学部と学校園の教員が共通のテーマに取り組むなど、多彩な教育実践の研究を行っています。

【附属幼稚園】

自然豊かな園庭で、子どもたちは季節を存分に楽しみながらのびのびと遊んでいます。毎年公開研究協議会を開催し、子どもの育ちについてはもちろんのこと、幼児の自発的な遊びを支える保育について広く発信しています。



【附属小学校】

光の差し込む明るい校舎やオープンスペースのある教室棟、図書室の充実したメディアルーム等、恵まれた環境の中で子どもたちの「生きる力」を育てています。また毎年、公開研究協議会等を積極的にを行い、教育研究校としての役割も果たしています。



【附属中学校】

附中飛翔プロジェクトや総合DOVE等の体験的・課題解決的な学習を通じ、キャリア教育の推進を図っています。また公開研究協議会等における先進的な研究成果の発信と検証を通じ、地域への貢献を目指しています。



【附属特別支援学校】

特別支援学校では、様々な人たちと関わりながら社会参加できるよう、特色ある教育活動を行っています。小学部・中学部・高等部の児童生徒が仲良く生き生きと学校生活を送ることができるよう支援しています。



キャリア形成・就職支援

●教育文化学部では、「キャリア委員会」が中心になって、学生の皆さんが主体的にキャリア形成ができるような支援を行っています。

●教育文化学部で学んだ幅広い知識を武器に、満足できる就職ができるよう支援しています。

〈就職情報室の設置〉

教育文化学部では「就職情報室」を設置し、常時専門職員が就職相談を行っています。

〈就職試験対策への支援〉

教育文化学部では、就職試験対策として以下の手厚い支援を行っています。

- ①教員採用試験対策講座「スタージュ」の実施
- ②企業・公務員志望者への支援
- ③卒業生・先輩からの支援
- ④「就職ガジェット」による就職情報の配信



就職情報室



教員採用試験対策講座「スタージュ」では、4年生向け合宿「スプリング・キャンプ」(写真上)及び3年生向け合宿「オータム・キャンプ」を行っています。

》おもな就職先・進学先 ※過去3年分 (平成29～31年度卒業生)

学校教育課程

〔教職〕
 ●秋田県(幼稚園教諭・私立幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・高等学校教諭・私立幼稚園講師・小学校講師・中学校講師・義務教育学校講師・特別支援学校講師・高等学校講師) ●北海道(小学校講師・高等学校教諭) ●札幌市(小学校講師) ●青森県(特別支援学校講師) ●岩手県(幼稚園教諭・小学校教諭・高等学校教諭・私立高等学校講師) ●宮城県(私立幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・小学校講師・中学校講師) ●仙台市(小学校教諭・中学校教諭・小学校講師) ●山形県(小学校教諭・中学校教諭・小学校講師・中学校講師) ●茨城県(小学校教諭) ●栃木県(小学校教諭) ●群馬県(小学校教諭) ●埼玉県(小学校教諭・私立高等学校講師) ●千葉県(小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・中学校講師・特別支援学校講師) ●神奈川県(小学校・特別支援学校教諭) ●横浜市(小学校教諭・中学校教諭) ●川崎市(特別支援学校教諭・小学校講師) ●新潟県(小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭) ●新潟市(中学校教諭) ●石川県(高等学校教諭) ●長野県(小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・小学校講師) ●山梨県(小学校教諭) ●静岡県(特別支援学校教諭) ●静岡市(小学校教諭)

〔公務員〕
 ●裁判所事務官 ●秋田県 ●秋田県警 ●秋田市(保育士含む) ●大館市(保育士) ●湯上市 ●仙台市(保育士) ●山形労働局 ●酒田市(保育士) ●いわき市(保育士) ●西京市(保育士)

〔法人〕
 ●秋田県立病院機構 ●労働者健康安全機構 秋田労災病院 ●秋田県立療育機構 秋田県立医療療育センター

〔企業〕
 ●社会福祉法人山王平成会 ごじょの保育園 ●防衛省共済組合 ●秋田銀行 ●秋田放送 ●青森銀行 ●テレビ岩手 ●秋田赤十字乳児院 ●日本政策金融公庫秋田支店

〔進学〕
 ●秋田大学大学院 ●北海道教育大学大学院 ●上越教育大学大学院 ●筑波大学大学院 ●鳴門教育大学大学院

地域文化学科

〔公務員〕
 ●農林水産省 ●東京国税局 ●仙台国税局 ●仙台検疫所(仙台空港) ●東北厚生局 ●宮城労働局 ●新潟労働局 ●警視庁 ●青森県警 ●岩手県 ●秋田地方検察庁 ●秋田地方裁判所 ●秋田労働局 ●秋田県 ●秋田市 ●能代市 ●男鹿市 ●湯上市 ●大仙市 ●仙北市 ●由利本荘市 ●横手市 ●酒田市 ●東京都大田区 ●新潟市 ●村上市

〔法人〕
 ●秋田県立病院機構 ●秋田県立療育機構 秋田県立医療療育センター

〔企業〕
 ●野村證券 ●みずほ証券 ●東京海上日動火災保険 ●損害保険ジャパン日本興亜 ●あいおいニッセイ同和損害保険 ●秋田銀行 ●北都銀行 ●秋田信用金庫 ●みちのく銀行 ●東北労働金庫 ●秋田魁新報社 ●秋田朝日放送 ●秋田放送 ●エフエム秋田 ●日本旅行東北 ●東武トップツアーズ ●東日本旅客鉄道 ●イオンリテール ●東北フジクラ ●伊徳 ●秋田ダイハツ販売 ●参天製薬 ●秋田酒類製造 ●安藤醸造 ●NTT東日本-東北 ●リコーITソリューションズ ●マイナビ ●全国農業協同組合連合会 ●東北労働金庫 ●秋田キャッスルホテル ●秋田県商工連合会 ●日本食研ホールディングス ●全国健康保険協会

〔進学〕
 ●秋田大学大学院 ●東北大学大学院 ●名古屋大学大学院

教育文化学部 卒業生の 就職体験談



〈就職先〉北海道夕張高等学校

藤井 大地

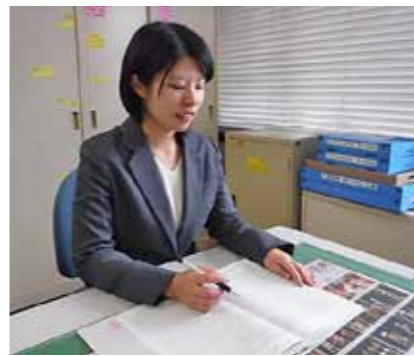
F U J I I D a i c h i

学校教育課程 / 教育実践コース
平成30年度卒業

チャレンジ・モア・スピリット

生まれ育った秋田を離れ、新たに北海道という地で教員生活がスタートして早1年が経ちました。実際に教育現場に立ってみると、初めて経験することが多く悩むこともありましたが、何事も自分の成長、ひいては生徒の成長につながるという意識をもって取り組んでいます。また周りの先生や生徒、地域の方々にも恵まれ、1年目でありながらも色々なことに挑戦させてもらっています。これらは大学4年間の学びや経験、出会いが自分の土台としてしっかりとあるからだと思っています。ふと「確かこんなことやったな」と思い出したり、困った時に共に学んだ大学の友人に尋ねてみると、全てが今の自分に、そして教育に繋がっているのだなと感じています。

最後になりますが、大学生活の4年間というのは、想像以上にあっという間に過ぎていきます。人と人との出会いやつながりを大切に、やりたいことは諦めず、欲張ってチャレンジしてください。その経験が必ずあなたを成長させ、将来の進路に生きてくると思います。皆さんにとっての大学生活が、後悔なく、充実した輝かしいものになることを心より願っています。



〈就職先〉秋田県庁

児玉 佳乃子

K O D A M A K a n o k o

地域文化学科 / 地域社会コース
平成30年度卒業

悩みや遠回りも自分の糧に

就職活動に向けて周りの空気が変わり始めたころ、どんな職種で、どこで働くのか、選択肢の幅広さに戸惑ったことを覚えています。公務員を目指す決めた後も、勉強や面接練習が周囲から遅れをとっていないか常に不安でした。そんな先の見えない不安の中、友人や就職情報室の方、大学の先生に不安な気持ちを正直に相談することで、長い準備期間を乗り越えることができたのだと思います。どんな分野を目指すにしても、1人で不安になることはきっとあるかと思っています。そんな時は抱え込まずに自分の気持ちを発信してみてもいいのではないでしょうか。きっと誰か共感してくれたり、助け舟を出してくれるはずですよ。

就職活動は不安もありましたが、じっくり時間をかけて自分と向き合うのでできた贅沢な時間でもありました。自己とは経験や行動の積み重ねの結果という考え方は私にとっても好きです。悩んだり遠回りしたことも、今の自分の成長に繋がっていて決して無駄じゃないと思えるからです。就職活動も自分の世界観や物の捉え方を広げる活動だと考えると前向きに取り組めるのではないかと思います。考え抜いて決めた道で歩む中で、別の歩みたい道が見つかったとしても、自分の糧とすれば決して後悔はしないはずですよ。

就職活動に今後向かうみなさんが今の自分にとって納得できる道を見つけることができる事を祈っています。



〈就職先〉リコーITソリューションズ株式会社

保坂 明里

H O S A K A A k a r i

地域文化学科 / 人間文化コース
平成30年度卒業

視野を広く持って

就職活動を通して世の中には多種多様な仕事があるということを知りました。私は就職活動を始めるまで、今の会社で働くことを全く想像していませんでした。しかし、様々な会社を見ていくうちに、自分に合っていそうな会社だと思い、縁があって今の会社に就職することができました。

私は大学で文学を専攻していて、今の仕事は直接関係があるわけではありません。しかし、大学で身につけた文書を読み解く能力は、仕事で資料を読んだり話を聞いたりして、相手の要望を正しく理解するうえでとても役立っています。

どんな経験でも無駄になることはありません。少しでも興味を持ったら授業やサークル、アルバイト、インターンシップなどどんなことにも積極的に挑戦してみてください。地域文化学科では様々な分野を学び、経験することができます。後悔のない就職活動を送れるよう、様々な人に話を聞き、興味のない仕事や業界にも目を向け、自分の視野を広げてみてください。みなさんが充実した学校生活を送れるよう願っています。

2021年度入学者選抜の方法

入試区分	学校教育課程					地域文化学科
	教育実践コース	英語教育コース	理数教育コース	特別支援教育コース	こども発達コース	
一般選抜 大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の結果および調査書を総合して判定します。	前期	・大学入学共通テスト ・個別学力検査 ・調査書	・大学入学共通テスト ・個別学力検査(英語リスニングおよびスピーキングを含む) ・面接	・大学入学共通テスト ・個別学力検査 ・調査書	・大学入学共通テスト ・個別学力検査 ・調査書	・大学入学共通テスト ・個別学力検査 ・調査書
	後期	・大学入学共通テスト ・小論文および面接 または実技検査(音・美・体)および面接	・大学入学共通テスト ・英語(スピーキングのみ) ・小論文(英文) ・面接	・大学入学共通テスト ・面接(数学または理科の板書等による記述を課す試験を含む)	・大学入学共通テスト ・小論文 ・面接	・大学入学共通テスト ・記述問題 ・面接(口頭試験を含む)
総合型選抜 (大学入学共通テストを課さない) 小論文、プレゼンテーション、面接の結果および調査書、志願理由書を総合して判定します。	—	—	—	—	—	・小論文 ・プレゼンテーション ・面接
学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない) 小論文、実技検査、面接の結果および調査書、推薦書、志願理由書を総合して判定します。	・小論文 ・実技検査(体育) ・面接(口頭試験を含む)	—	—	—	—	—
学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す) 大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の結果および調査書、推薦書を総合して判定します。	・大学入学共通テスト ・小論文および面接 または実技検査(音・美)および面接	・大学入学共通テスト ・英語(スピーキング) ・小論文(英文) ・面接	・大学入学共通テスト ・面接(数学または理科の板書等による記述を課す試験を含む)	—	・大学入学共通テスト ・小論文 ・面接(口頭試験を含む)	・大学入学共通テスト ・小論文 ・面接
編入学	学力検査、面接の結果および成績証明書、志願理由書を総合して判定します。					
私費外国人留学生入試	個別学力検査等の結果および日本留学試験の成績を総合して判定します。					

※各入学試験の詳細については、入学者選抜要項(令和2年7月公表予定)および各募集要項により必ずご確認ください。

※詳しくは秋田大学ホームページ「秋田大学受験生ポータルサイト」で!



手形キャンパスへの交通案内



- 秋田駅西口から「バス(秋田中央交通)」の場合
西口バスターミナル⑫番から「手形山大学病院」線 ※「秋田大学前」下車/徒歩1分
- 秋田駅東口から「徒歩」の場合 ▶ 約15分(約1.3Km)



秋田大学

教育文化学部

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1
TEL.018-889-2509 FAX.018-833-3049
http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/



教育文化学部
ホームページ